果樹カメムシ類の防除を徹底しましょう!

JA全農とちぎ園芸部　流通対策課
栃木県農政部　経営技術課

主要なカメムシ類

チャバネアオカメムシ

果樹園に飛来して果実を吸汁加害

クサギカメムシ

ツヤアオカメムシ

被害の様子

吸汁された果実は奇形果となる

果肉内部はスポンジ状となり、品質が著しく低下

～令和6年の状況～

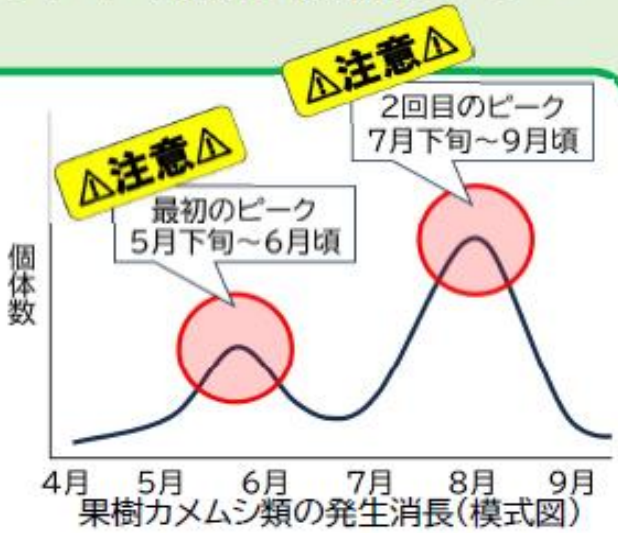
前年の個体数増加と暖冬で多くの個体が越冬したことに加え、4月の気温が平年より高かったことから、例年より早く活動が活発化し、その後の被害に繋がりました。

具体的な防除対策

○果樹カメムシ類の発生ピークは、例年5月下旬～6月頃と7月下旬～9月頃の年2回。

○発生予察の情報収集と、ほ場内（特に周縁部）観察をこまめに行い、**必ず飛来を確認したら**薬剤防除を実施しましょう（過剰防除にならないように注意！）。

○多目的防災網の設置園では、開花期終了後直ちに展張し、カメムシ類の侵入を物理的に防ぎましょう。



果樹カメムシ類の発生消長（模式図）

多目的防災網

※写真提供：栃木県